

【報告事項】

モンゴル支部10周年イベント参加報告

期間：2024年10月10日～10月14日

2025年3月18日

PMI日本支部理事 羽佐間一潮

アジェンダ

●———— Day 1 ————— 10月11日 ●

シティツアー & セッション

- 戦勝記念碑の丘を登る
- ブレックファーストセッション
 - TESO グループの取り組みを紹介
- ランチセッション
 - APU Companyの取り組みを紹介

●———— Day 2 ————— 10月12日 ●

Annual Conference 2024

●———— Day 3 ————— 10月13日 ●

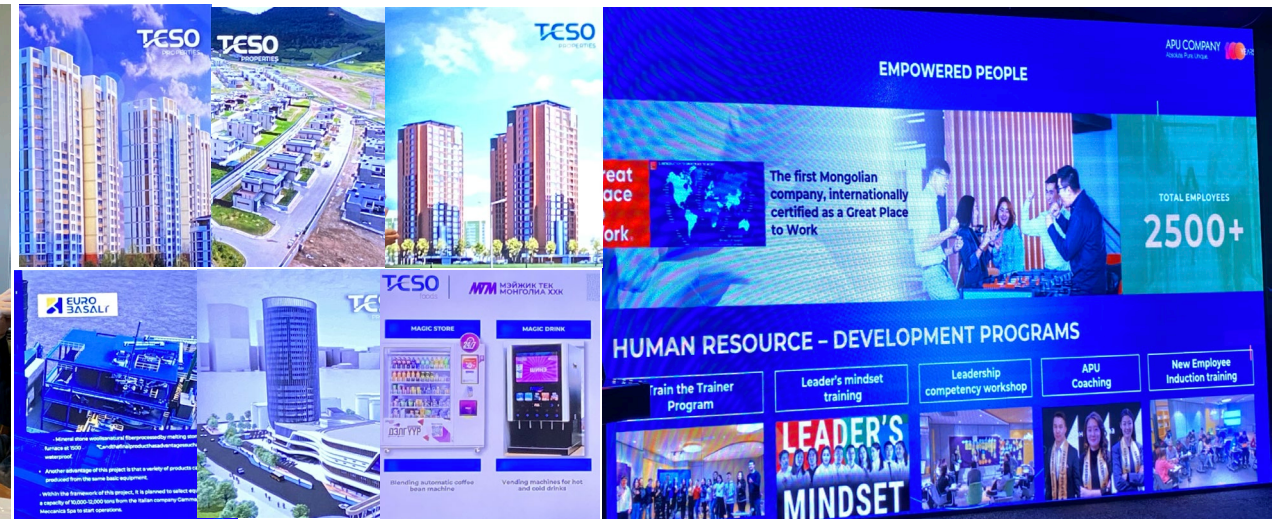
郊外ツアー

Day 1：シティツアー＆セッション

Day 1

シティツアー＆セッション

- 戦勝記念碑の丘を登る
- ブレックファーストセッション
 - TESO グループの取り組みを紹介
 - 多くのメガプロジェクトが目立つ
- ランチセッション
 - APU Company
 - 多くのITプロジェクトの紹介
 - ITリテラシーの高さに驚かされた



Day 2 : Annual Conference 2024

●———— Day 2 ————●

09:00 – 09:15 Networking/Icebreak
09:15 – 09:30 Opening remark
09:30 – 10:20 Keynote speech I
 Topic 1: PMI:Next– Lighting the way to Project Success
 Topic 2: Elevating our world with Project success / Q&A
10:20 – 10:40 Keynote speech II
 Topic: Decade of Growth for Future of Excellence
10:40 – 10:50 10th Anniversary video
10:50 – 11:10 Coffee break/ Networking
11:10 – 12:00 Panel Discussion I
 Topic: AI in project management
12:00 – 12:20 Keynote speech III
 Topic: Storytelling the PMO Practices in project management
13:00 – 13:15 Cultural Performance
13:15 – 14:05 Panel Discussion II
 Topic: Modern project management approaches: Predictive, Agile, or Hybrid.
14:05 – 14:20 Insight session
 Topic: GO MONGOLIA Project

14:20 – 15:10 Panel Discussion III
 Topic: Organizational Project Management: The new definition of PMO in Digital Transformation Era
14:20 – 15:10 Workshop I
 Topic 1: Mastering the Path: PMI Certification Journeys and Insights
 Topic 2: Student Contest finalist
15:10 – 15:35 Insight session II
 Documentary: “Herders at the Edge” Short Documentary
16:00 – 17:00 Panel Discussion IV
 Topic: Importance of Implementing Project Management framework in Enterprises and Government entities
16:00 – 17:00 Panel Discussion V
 Topic: Digital transformation in the Mining and heavy industries
16:00 – 17:00 Workshop II
 Topic: Future skills
17:00 – 17:25 Best Project, Best Project Manager Award
17:25 – 17:45 Insight session III
 Topic: Best Project Introduction
17:45 – 18:00 Wrap up

09:00 – 09:15 Networking/Icebreak

09:15 – 09:30 Opening remark

09:30 – 10:20 Keynote speech I

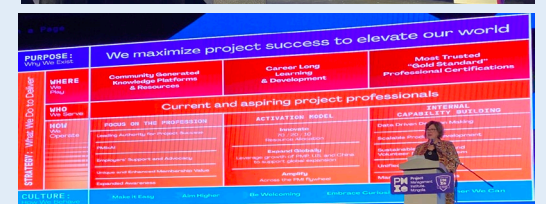
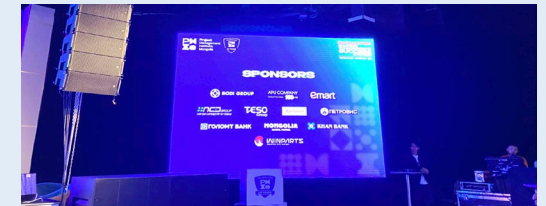
Topic 1: PMI:Next– Lighting the way to Project Success

Topic 2: Elevating our world with Project success / Q&A

10:20 – 10:40 Keynote speech II

Topic: Decade of Growth for Future of Excellence

- モンゴル支部会長から会場参加者および日頃から支援いただいているスポンサー、イベントを支えているスタッフ、海外から参加している関係者への謝意が伝えられた
- ピエールから、このイベント開催へのお祝いとPMI全体の成長について紹介があった
- モンゴル支部からは近年におけるプロジェクトマネジメントへの意識の向上、企業のプロジェクトへの適用、ムーブメントについて紹介いただいた
- プロジェクトマネジメントが企業に少しずつ浸透してきていることが伝わってきた



Day 2 : Annual Conference 2024

Day 2

11:10 – 12:00 Panel Discussion I

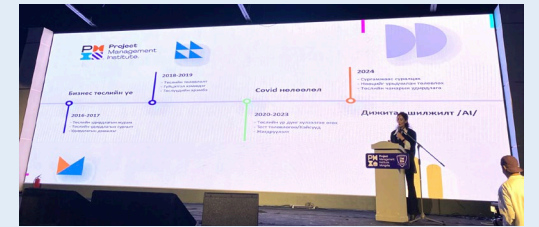
Topic: AI in project management

12:00 – 12:20 Keynote speech III

Topic: Storytelling the PMO Practices in project management

13:00 – 13:15 Cultural Performance

- AIのプロジェクトマネジメントは出来るところ（議事録の作成など）から着手することになるが、多くの適用領域が考えられる
- 人間にしか出来ない領域も存在しているが、テクノロジーの進化により限られてくるのではないか
- AIの場合、学習させるために教育する人のスキルも求められる
- PMOの必要性は年々増えてきており、その重要性も増している
- PMOの役割も変化つつあり、経営的な役割も担うケースがある
- 会場には多くの参加者（特に若年層が多い）が来場していた
- 現地の文化的な演奏もあり、ホスピタリティを感じた



Day 2 : Annual Conference 2024

Day 2

13:15 – 14:05 Panel Discussion II

Topic: Modern project management approaches: Predictive, Agile, or Hybrid.

14:05 – 14:20 Insight session

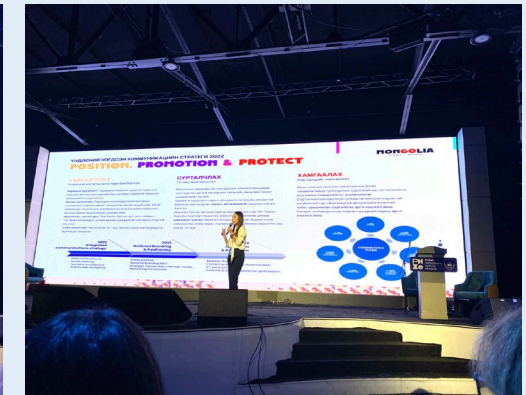
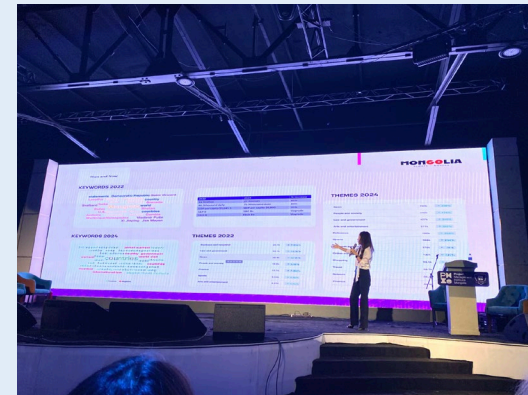
Topic: GO MONGOLIA Project

位置付けとしては製品品質をレベル高く管理してくれる

- 品質、スコープマネジメント
- もっと戦略的な作業にシフト出来る
- 企業はどのようにAIを適用していくのか

コンフィデンシャル情報をどうマネジメントしていくか。

- 生成AIのプロジェクトマネジメントとは？
- スピードが早い、問うのではなく行動しよう。
- プロジェクトマネージャーはどのように学習すれば価値を上げられるのかを勉強しトライしていく必要がある



Day 2 : Annual Conference 2024

Day 2

14:20 – 15:10 Panel Discussion III

Topic: Organizational Project Management: The new definition of PMO in Digital Transformation Era

14:20 – 15:10 Workshop I

Topic 1: Mastering the Path: PMI Certification Journeys and Insights

Topic 2: Student Contest finalist

15:10 – 15:35 Insight session II

Documentary: “Herders at the Edge” Short Documentary

リーダーシップに必要なこと

- モチベーション
- インセンティブスキーム
- プロフェッショナルソフトスキル
- スキルを一緒に学びましょう
- 地元のパネリストは、モンゴル企業が組織的な施策やPMOを駆使する状況に至っておらず、基本的な実践ノウハウに関心を持っていた。ファシリテーター（香港の大学教授）は、PMO Certified PractitionerやPMO Practice GuideなどPMO-GAの話に振りたがった



Day 2 : Annual Conference 2024

Day 2

16:00 – 17:00 Panel Discussion IV

Topic: Importance of Implementing Project Management framework in Enterprises and Government entities

- モンゴルの民間事業はFuture State（将来構想）が明確なのに対し公共事業プロジェクトではProactive（先を見越した）PIDが描けない点に大きな課題を抱えている。
- 政府は本質的に詳細構想を描く組織ではない。公共事業のあるべき姿は政治家によって描かれるものであり、政府組織に期待するものではない。将来構想は政治により立案され、議員もしくは選挙で信任を得たうえで政府がその構想を進めるもの。政府は構想を実現するうえで専門家へ依頼しPOCを含めた構想計画を立案するものだ。これは民主主義のアジア各国でのコンセンサスだと思う。

What is a important thing for Project manager to drive own project?

- コミュニケーションが最も重要。3Cだ。コミュニケーション、コミュニケーション、そしてコミュニケーションだ。
- プロジェクトによって生まれる価値をメンバー全員が認識することが重要であり、これがもっとも難しい。
- プロジェクトの将来構想（Future-State）を聞きだし、プロジェクトメンバが認識することがもっとも重要であり、難しいテーマだ。



Day 2 : Annual Conference 2024

Day 2

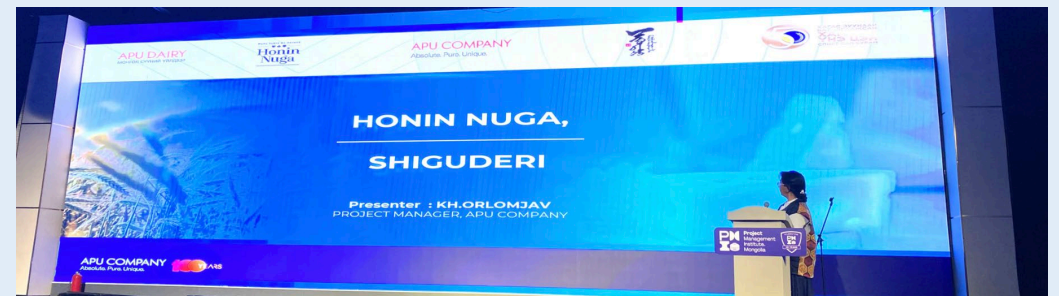
17:00 – 17:25 Best Project, Best Project Manager Award

17:25 – 17:45 Insight session III

Topic: Best Project Introduction

17:45 – 18:00 Wrap up

- スポンサー企業のプロジェクトであるが、社員が会社と一丸となって取り組みを達成しようとしていることが伝わってくる
- 企業の中でプロジェクトマネジメントが適用され、効果をあげていることに対してメンバーも誇らしく感じている
- 適用されているプロジェクトはどれも大規模であるため、相当な苦労があったのではないかと想像する
- メンバーが堂々とプレゼンテーションしている
- 講師たイベントで表彰されることはメンバーにとっても大きなモチベーションに繋がると感じた
- 受賞したプロジェクトはスポンサー企業であることから、その在り方には検討の余地があると感じた



Day 2 : Annual Conference 2024

——— 所感（羽佐間） ———

今回のカンファレンスを通じて一貫して感じたことを以下に共有いたします。

社会基盤整備状況

- 空港は市内から14Km（Googleマップ履歴）の距離にあるものの、アクセスは車に限定されかつ渋滞がひどく市内のホテルまで 2時間30分を要した。市内アクセスは公共交通がバスしかなく、マイカー渋滞が慢性的な状況。
- パネリストのひとりがメトロプロジェクトの市政府側メンバーであり、現在計画を進行中とのこと。空港からのアクセスは2次計画とのことであった。渋滞解消にあたり公共交通機関の整備は喫緊の課題と感じた、またカンファレンス後のパーティに参加しているウランバートルの関係者も強く期待しているものだった。
- 水道、電気は地方の田舎（イメージどおりの一面の牧草地帯）にまで整っていた。

PMIモンゴル支部・現場プロジェクト関係者の構成について

- まず、全般的に最前線の中堅クラスは日本に比べて若い。30歳前後の若者が国を背負って、問題解決にまい進しており、発表も堂々としており、言わされてる雰囲気は一切感じなかった。責任をもって与えられた課題（プロジェクト）を解決している気合が伝わってきた。
- 人口350万人に対し、約半分の169万人がウランバートルで活動している。（地球の歩き方と現地情報より）社会課題も多く、その多くが30歳代のモンゴル人が最前線で活躍している。IT分野では女性の比率が圧倒的に多いのが特長的だ。
- 鉱業やガス採掘はモンゴルの重要事業だが、上述した社会基盤の課題は多く、パネリストも「公共事業プロジェクト（Public-Sector）」の推進に多々課題を感じていた。
- この国にはチャレンジする機会が数多あり、日本国内の同年代のエンジニアにも権限を大幅に移譲しチャレンジする機会を与えるのが我々シニア世代の使命と改めて感じた。

パネルでの発表も機会も与えていただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました